

栃木県生協連・2012年度3月定例報告

2013年3月13日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 2月活動日誌

日付	曜日	予定
2月1日	金	県連中計委員会
2月2日	土	消費者ネットワーク「消費者シンポジウム」
2月4日	月	食の安全ネットワーク消費者セミナー(那須塩原・よつ葉生協)、 県エコ農業推進会議
2月5日	火	県連くらし部会
2月6日	水	労福協幹事会
2月7日	木	関東グループフォーラムinつくば
2月8日	金	食の安全ネットワーク消費者セミナー(矢板・地婦連)
2月9日	土	いわき四倉工業団地仮設でのお茶会、職域団体住宅相談会
2月12日	火	県連(公正取引委員会セミナー)拡大役員研修会、県連理事会
2月13日	水	関東農政局食品表示セミナー
2月14日	木	宇都宮大学生協県定期検査、福祉ネットワーク見学会・全体会
2月15日	金	県消費生活審議会
2月17日	日	県食肉公正協総会
2月18日	月	福祉ネットワーク見学会・全体会
2月19日	火	県連6県連研修会実行委員会、県連職域部会
2月20日	水	食の安全ネットワーク消費者セミナー(宇都宮・労福協)
2月21日	木	宇都宮市食の安全推進懇話会
2月22日	金	消費者セミナー・事業報告書編集会議
2月25日	月	栃木労生協理事会
2月26日	火	消費者庁グループフォーラム実行委員会、日生協震災対策検討会、 協同組合年ワーキングチーム会
2月27日	水	消費者庁・集团的訴訟制度シンポジウム
2月28日	木	宇都宮市・消費者団体との意見交換会、 県・宇都宮市「とちぎ食品安全フォーラム」

(2) 2月活動の概況

(理事会、研修会について)

2月12日(火) 県連理事会では、2013年度の計画骨子案、2013～2014年度会費案、4次中期計画案、総会日程案、平和の取り組み等について提案・審議された。

同日理事会前に「拡大役員研修会」が開催された。公正取引委員会の事務総局官房総務課から2人の方が講師として来られ、消費者向けのセミナーとして公正取引委員会の取り組みの説明と不公正な取引について具体例を交えて話がされた。県連としては初めて、公正取引委員会に要請したセミナーであり、昨年日生協が下請け法違反などの指導・勧告がされただけに、法令順守の重要性を感じさせられるセミナーとなった。

(部会の動き)

2月5日(火)今年度5回目のくらし部会が開催され、この間の活動の振り返り、交流とともに平和の取り組みなどが論議された。

2月19日(火)今年度3回目の職域部会が開催され、2013年度は2回(7月、2月)開催することと6県連業態研修会に参加していくことが確認された。

(委員会の取り組み)

2月1日第5次中期計画委員会が開かれ、論議で出された点を補強し2013～2015年度の県連中期計画案について、2月理事会に案として報告することが確認された。

2月19日6県連合同業態研修会の第2回県連実行委員会が開催された。2013年度の日程案(9月又は10月)及び開催地を那須地域とすることで、参加県連の意向集約することを確認した。

(宇都宮市内と福島県から避難されている方々のふれあいお茶会)

2月19日(火)ふれあいお茶会が特養みどりで開催された。今回は、大人16名、子供1名、17名で、継続参加の皆さんだった。協力者、スタッフは県連8名(とちぎコープ4名、よつ葉生協3名)、ウィズ2名、ふれあい1名、ぼぼら1名、福島県から2名、計14名だった。ひな祭り用のちらし寿司、桜もち、草もちで、お茶会が開催された。趣味を通じて前向きに生活されている方や、震災から2年を経てもまだまだ慣れることはないなどの話が出されていた。

(いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

2月9日(土)第12回目いわき市四倉中核工業団地仮設でのお茶会が開催された。いわきでのお茶会も1年を迎えた。参加スタッフは、とちぎコープ7名、よつ葉生協2名、県連2名の計11名、車はよつ葉生協ワゴン車1台、とちぎコープの1台でいわきに向かった。参加された方は大人9名(内男性1名)だった。フェルトを使ったポップ入れやフラワーアレンジメントで楽しまれていた。手芸を楽しみにされていて、皆さんありがとうと言われる。秋には自宅に帰りたいなどの話が出されていた。

(食の安全課題の関連)

「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」2月は、4日よつ葉生協主催のセミナーが那須塩原市のいきいきふれあいセンターで開催された。講師は、県南の有機農業生産者の館野氏がされた。参加者は、84名で会場一杯の状況になった。

※那須塩原市で
開催された
「消費者セミナー」



8日栃木県地婦連を開催団体に矢板市の生涯学習館で開催された。講師は農林水産省山田友紀子技術総括審議官、参加者は126名だった。山田審議官には、今回で3回目の講演をいただいた。また、矢板市の生涯学習課のご協力が大きく、設営準備、運営、役

所の方の参加も多かった。

2月20日栃木県労福協を開催団体とするセミナーが、宇都宮のアピアで開催された。講師は福島県水産試験場の場長五十嵐氏で3回目の講演だった。参加者は128名だった。

2月28日栃木県と宇都宮市の共催で、「とちぎ食品安全フォーラム」が漬物の衛生管理をテーマに開催された。基調講演は麻布大学伊藤客員教授、報告は漬物事業者の(株)アキモの秋本社長から行われた。昨年9月北海道で白菜の浅漬けからO157による食中毒が発生していることから、こうしたテーマ設定になったとのことだった。パネル討論では、ネットワークの世話人でもある宇都宮大学農学部の宇田教授がコーディネーターに、地婦連の田中事務局長がパネリストして参加された。参加者は事業者の方も多く約250名だった。漬物製造業の場合、小規模事業者さんが多く、衛生管理の課題があることは知られており、時期を得たテーマ設定になったと思われる。

2月21日宇都宮市の「食品安全推進懇話会」が開催された。竹内会長が委員として参加し、平成25年度の監視指導計画案、食品衛生の確保などについて意見交換された。

「とちぎ食の安全安心推進会議」の確認を経て、県では栃木県食品衛生監視指導計画案へのパブリックコメントが募集されており、食の安全ネットワークとして2月28日意見を提出した。ネットワークとしては、よりきめの細かい全圃場毎の放射性物質検査、検査体制、人事育成、機器の増設、消費品表示一元化への対応、きめの細かいリスクを要望した。

(消費者課題)

2月2日(土)消費者シンポジウムが宇都宮大学ホールで開催された。参加者は253名と今まで最も多かった。内容と写真は1月定例報告に記載されているのでご参照願います。

2月7日消費者庁と実行委員会主催の関東消費者グループフォーラムが、つくば市の国際会議場で開催された。参加者は77団体195名、1都9県の消費者団体を横につなぎ、その場での取り組み報告を地域の持ち帰るのをねらいとして開催され、今年で3回目となった。消費庁からの報告、千葉、新潟からの取り組み報告、開催県の茨城県の劇団どてかぼちゃの劇、茨城大学の井上教授からの基調講演とグループ討論が行われた。次年度は千葉県での開催の予定。とちぎ消費者ネットワークからの参加は14名だった。

2月15日県消費生活審議会が開催された。平成25年度に現消費生活条例の改正に向けた協議が行われた。委員として竹内会長からは、「消費者の権利」の記載に重要性について触れられた。

2月28日消費者庁主催の「シンポジウム 消費者団体訴訟制度のこれまでとこれから」が、東京・四谷のプラザエフで開催された。最近の法案化の骨格の報告も行われた。

(福祉ネットワーク)

2月18日福祉ネットワーク見学会と全体会が開催された。関係団体であるNPOあじさいが建設、昨年10月に開所されたアナベル土塔(高齢者向け賃貸住宅)と社団法人コープ福祉とちぎが昨年11月に開所されたコープ福祉介護センター小山事業所(ショートステイ、デイ、居宅、訪問、ちっぴこハウスすくすく)の見学と説明、全体会が開催された。それぞれ新しく地域の期待を受けて、実績を積み上げられてきている。4会員が参加されたが、次年度に向けネットワークとしての広がり課題になっている。

(国際協同組合理年)

3月19日に第4回目の栃木県実行委員会を開催し、今後の委員会の組織再編について提案していくことで、JA 栃木中央会事務局と生協連事務局で準備を進めた。

3月4日県連国際協同組合理年ワーキングチーム報告会を開催することと、1年半の締めくくりの場として、2月26日第17回ワーキングチーム会を開催した。協同組合理原則などから見た2012年度上期の振り返りを、生活クラブ生協中塚部長とふれあいコープ澤田さんから報告があった。また、3月4日の準備と進め方について意見交換した。

(3) 4～6月の課題

1. 6連合同業態研修会・実行委員会の開催
2. 4～6月部会等活動の推進
(くらし部会・平和の学習会開催)、(第2回災害対策交流会の開催)
3. 4～6月ネットワーク活動(食の安全ネット、消費者ネット、福祉ネット)推進
4. 震災から2年を経て被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
5. 第5次中期計画案の確認
6. 県連第44回通常総会の準備と開催

今後の活動予定及びお知らせ(3～6月)

1. 栃木県生協連の活動予定

- 3月16日(土) 11時～、いわき市四倉工業団地仮設、「お茶会」
3月18日(月) 13時半～、福祉プラザ、「災害対策交流会」
3月19日(火) 10時～、特養みどり、「ふれあいお茶会」
5月9日(木) 13時半～予定、「くらし部会拡大学習会」
講師予定 公益財団法人 広島平和文化センターから
派遣いただく予定
仮題 核廃絶に向けた状況と2020ビジョン
(世界平和市長会議の状況含めて)
6月28日(金) 14時～、会場今後、「栃木県生協連・第44回通常総会」

2. ネットワークの活動予定

- 3月25日(月) 10時～、栃木県司法書士会館3階会議室
とちぎ消費者ネットワーク
「全体会(仮・団体訴訟制度の学習会)」

3. 国際協同組合理年関係

- 3月19日(月) 10時～、JA 栃木中央会電算センター
「国際協同組合理年・第4回栃木県実行委員会」

4. 栃木県及び他団体の行事参加の予定

- 4月27日(土) 10時頃、宇都宮オリオン通り、「労福協・福祉まつり」
5月31日(木) 13時半～、県総文センター、栃木県「消費者のつどい」